

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		SRETAN HOUSE				公表日	2026 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・【動】と【静】で空間を区切っており、子ども達の状態に合わせて、スペースを確保できる。 ・個々の発達特性に合わせた支援を実施している。	・【動】と【静】の区切りにカーテンや目隠しが必要な時がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・個別支援と集団活動のバランスが重要であると認識している。・兄弟(兄妹)の関わりについても配慮して対応している。・視覚的に見て理解しやすい環境を提供している。	・曜日によって、職員の人数が少ないことがある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・支援の質を上げるため、職員の増員や研修を実施している。 ・職員同士で意見交換を行い、日々の支援の質の向上に努めている。 ・必要に応じて相談室を利用している。	・視覚的に見てわかるようにしておく方がいい場所がある。 ・初めての子には、少しの段差があるため、慣れるまでの声かけやサポートが必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・きれいに整頓され、ゆったりと過ごせるような環境を提供できている。 ・個別に2ヶ所利用ができるよう工夫している。	・掃除が毎日できたらいいが、時間がないことがある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・スタッフと話したり、ゆっくり過ごせる個室(相談室)や集中して学習ができるように2階の部屋を用意している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・スタッフが静かでゆったりとした雰囲気に対応している。 ・学習に集中できる環境を提供している。 ・毎朝のミーティングで職員同士の情報共有や疑問の解消に努めている。	・1日の終わりは、バタバタして振り返りができない時がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・保護者に協力をお願いし、意見を聞くことで支援の内容を改善している。 ・改善点を職員同士で共有し、支援に活かしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・研修や勉強会を開催し、スキルアップを図っている。 ・利用者の様子を共有し、支援の方向性を確認している。 ・話し合いで業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・今回から実践していく		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部の研修へ参加することでスキルを向上させ、研修で学んだことを支援に活かしている。 ・ABAや体幹に関する研修を受講している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・個別支援計画に基づき、支援を実施している。 ・ホームページに公開(UP)している。 ・プログラムが公開されている。		

の 提 供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・支援の質を向上させるため、定期的に評価を実施し、職員で評価を共有し、改善に活かしている。 ・支援後に計画や目標を確認している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有し、個別支援計画に活かしている。 ・個別支援計画の作成の合間にスタッフ間で情報共有を実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有し、個別支援計画に活かしている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・本人の意思や希望を尊重し、支援の内容や進捗を共有し、改善に活かしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設	5		・支援計画の内容を日々の支援に活かし、個別支援計画に活かしている。 ・個別支援計画の内容を職員で共有し、支援に活かしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・活動にチームで取り組む。職員の役割や責任を明確にし、支援に活かしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・活動の計画は固定せず、状況に応じて柔軟に対応し、個別の支援に活かしている。 ・内容は子どもの様子に合わせて臨機応変に考えている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有し、個別支援計画に活かしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有し、個別支援計画に活かしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・可能な時は実施している。	・時間がある時は実施しているが、できない日は未実施である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有し、個別支援計画に活かしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	・関係機関と連携し、情報を共有し、個別支援計画に活かしている。	

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有し、個別支援計画に活かしている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・本人の意思や希望を尊重し、支援の内容や進捗を共有し、改善に活かしている。 ・ひとり遊びなどを通じて、自分で決める力を育てている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	・関係機関と連携し、情報を共有している。・体制は整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	関係機関と連携し、情報を共有している。 ・年間の行事や行事予定を知らせ、その都度確認している。 ・保護者が連携を実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・関係機関と連携し、情報を共有。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・関係機関と連携し、情報を共有。 ・マルシェやイベントで地域との交流がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・関係機関と連携し、情報を共有。 ・保護者が望んでいるものを聞いている。	

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有。 ・支援計画の共有に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3	・関係機関と連携し、情報を共有。 ・今後予定している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有。 ・SNS（ホームページ・Instagram・公式ライン）を活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報の取扱いに十分配慮している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・関係機関と連携し、情報を共有。 ・マルシェで行っている。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・安全管理に努め、安全な環境を提供。 事故の未然防止に努める。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・安全管理に努め、安全な環境を提供。 事故の未然防止に努める。	

48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・安全管理に努め、安全な環境を提供。 事故の未然防止に努める。	
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・安全管理に努め、安全な環境を提供。 事故の未然防止に努める。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・安全管理に努め、安全な環境を提供。 事故の未然防止に努める。	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・安全管理に努め、安全な環境を提供。 事故の未然防止に努める。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・安全管理に努め、安全な環境を提供。 事故の未然防止に努める。 ・月1回のミーティングで実施する。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・安全管理に努め、安全な環境を提供。 事故の未然防止に努める。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・安全管理に努め、安全な環境を提供。 事故の未然防止に努める。	